

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第21週（令和7年5月19日～令和7年5月25日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・第21週は、今年県内1例目となる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告がありました。本疾患は、SFTS ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染し、発症すると、38℃以上の発熱や、消化器症状（嘔吐や腹痛、下痢）等の症状が現れます。登山や農作業などで草むら等に入る際は、マダニに咬まれないよう長袖・長ズボンを着用し肌の露出を少なくしましょう。
- ・6月1日から7日は「HIV 検査普及週間」です。各保健所では、エイズ（HIV）・性感染症の特例検査を実施します。詳しくは、お住まいの市町村を管轄する保健所までお問合せください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	7	268	195	4,890
腸管出血性大腸菌感染症	3	46	58	535
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	1	1	11	34
日本紅斑熱	1	2	29	85
レジオネラ症	1	16	41	638
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	35	22	632
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	14	23	319
侵襲性肺炎球菌感染症	5	76	92	1,878
梅毒	12	311	201	5,058
百日咳	120	1,142	2,299	19,274

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル（※）

：注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	72	0.59	0.85	3,694	0.96
インフルエンザ	121	0.99	0.74	2,910	0.75
急性呼吸器感染症	5,861	48.04	0.93	231,866	60.26
RSウイルス感染症	22	0.31	0.79	726	0.31
咽頭結膜熱	58	0.83	0.85	1,272	0.54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	296	4.23	0.92	7,520	3.19
感染性胃腸炎	681	9.73	0.98	18,117	7.68
水痘	28	0.40	0.70	1,275	0.54
手足口病	17	0.24	2.13	305	0.13
伝染性紅斑（警報レベル）	182	2.60	0.95	4,834	2.05
突発性発しん	45	0.64	1.00	868	0.37
ヘルパンギーナ	15	0.21	1.88	129	0.05
流行性耳下腺炎	7	0.10	0.78	196	0.08
急性出血性結膜炎	0	0.00	—	41	0.06
流行性角結膜炎	6	0.23	0.60	632	0.90
細菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	11	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	—	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	2	0.13	1.00	157	0.33
クラミジア肺炎	0	0.00	—	4	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	14	0.93	1.75	110	0.23

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。